

## 平成 29 年度「鉄道やバスを題材とした学習」に関する調査結果について

### 1. 目的

公共交通に対する意識付けを学校教育と連携して行う「交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）」の全国の自治体や学校での取組みが徐々に増えつつあり、エコモ財団でも、平成 25 年と平成 28 年度に都道府県及び市を対象にアンケート調査を実施し、実施状況の把握を行ったところである。

実施状況を継続的に把握し、さらに交通環境学習の認知度を高め、取組みを進めていくためには、自治体の担当部署との連絡を強化し、継続的にアプローチしていくことが重要である。

このため、昨年度に引き続きアンケート調査を行い、交通環境学習の実施状況を把握することを目的とする。

### 2. アンケート調査の実施

#### 2.1 アンケート調査の概要

##### (1) 調査概要

表 2-1 アンケート調査の概要

項目	内容
調査対象	都道府県及び市（東京 23 区を含む） 860 件
調査方法	配布：郵送配布 回収：選択方式（インターネット、郵送、FAX、メール）
配布物	・ 調査票（A 3 両面） ・ 返信用封筒（長 3）
調査期間	平成 29 年 11 月 16 日（木）～11 月 30 日（木）

#### <参考> 過年度調査の概要

項目	平成 28 年度調査	平成 25 年度調査
調査対象	都道府県及び市（東京 23 区を含む）860 件	全国より抽出した 251 市区町村 ※過去 2 年間に交通環境学習の実施が確認できた 126 自治体及び未実施 125 自治体（県庁所在地、特例市以上、環境モデル都市、環境自治体会議参加市町村、その他人口の多い市町村）
配布回収方法	郵送配布 選択方式回収（インターネット・郵送・FAX）	郵送配布 選択方式回収（郵送・FAX・メール）
有効回収件数	458 件（回収率 53.3%）	166 件（回収率 66.1%）

### ① 調査対象の抽出

平成 28 年度調査時に作成した対象者リストをベースに、自治体の担当部署の再編、送付先の変更の有無を自治体のホームページで確認し、今年度版の送付リストの作成を行った。

表 2-2 調査対象

分類	件数
都道府県	47
市（東京 23 区を含む）	813
計	860

### ② 配布・回収方法と回収数

アンケート調査票は郵送で配布し、回収方法は、昨年度調査で要望の多かったメールを追加、それに伴い、WEB ページから調査票をダウンロードできるようにした。以下の 4 つの方法の中からの選択方式とした。

- 紙の調査票に記入後、郵送で回収
- 紙の調査票に記入後、FAX で回収
- WEB ページへの入力により回答
- WEB ページからダウンロードした調査票に回答を記入後、メールで回収

回収状況は下表のとおりであり、有効回答数は 500 件、回収率は 58.1%である。

表 2-3 回答方法別有効回答数

回答方法	配布件数 (件)	有効回答		H28年度調査 (件/ ( ) 内は構成比)
		回収数 (件)	構成比 (%)	
インターネット	-	120	24.0	165 (36.0)
FAX	-	26	5.2	20 (4.4)
メール	-	33	6.6	-
郵送	860	321	64.2	272 (59.4)
<b>総 計</b>	<b>860</b>	<b>500</b>	<b>回収率 58.1%</b>	<b>458</b> (手渡し 1 件含む)

※2017 年 12 月 21 日回答分までを集計

### ③ 調査項目および調査の設計

アンケート調査票は、昨年度の課題である都道府県が回答しにくいという課題を解消するため、都道府県と市でA、Bの2種類に区別し、さらに、回答しやすさを考慮して、昨年度調査での交通環境学習の取組みの有無により、下記の「内容1」、「内容2」の4種類にわけて設計した。

**内容1：H28年調査で交通環境学習の取組みが確認された自治体**

**内容2：H28年調査で交通環境学習の取組みが確認されなかった自治体**

(回答があったが未実施、未回答)

表 2-4 アンケート調査項目

調査項目		内容1 H28に実施を確認	内容2 その他
①交通環境学習 の実施状況	昨年度実施の有無	○	○
	【新規】継続的に実施できる理由	○	×
	実施意向の有無	×	○
	実施しなかった理由	○	○
	実施方法(1)(2)(3)	○	○
	実施内容	○	○
②今後の取組み	今後の取組予定	×	○
	取組の課題や障壁	○	○
	取組む上での問題点、支援してほしい事柄	○	○
③アンケート回 答方法	アンケート回答方法	○	○
	回答しやすい理由	○	○
④属性	連絡先	○	○

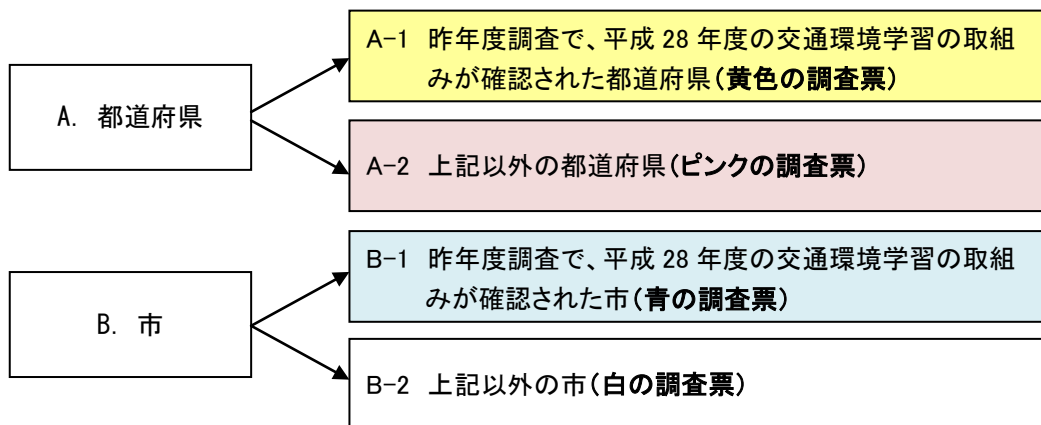


図 2-1 アンケートの構成

## 「鉄道やバスを教材とした学習」に関する調査

### ご協力をお願い

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒、学生を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の自治体での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/>) での公表を予定するとともに、ご回答いただいた自治体の方には、本調査の集計結果や交通環境学習関連情報をご提供させていただきます。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

#### 「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

交通環境学習の  
授業内容例

- ・バスや鉄道の乗り方教室
- ・公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

#### ■記入上のご注意

この調査票は、平成28年度に交通環境学習に取り組んだと回答された自治体にお送りしています。  
ご回答は、「交通環境学習」に取り組まれた場合は、その内容をご存じのご担当者様、  
取り組まれていない場合は、公共交通計画等の関係部署のご担当者様にお願いいたします。

#### ■回収の期日

ご記入頂いた調査票は、**11月30日（木）**までに、送付願います。

#### ■調査票の回収方法（A～Dのいずれかの方法で返送ください）

##### A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

**交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>**

##### B. 郵送

記入後の調査票を同封の「返信用封筒」に入れて、ポストへ投函（切手不要）

##### C. FAX

記入後の調査票を **FAX 06-4796-8509** まで返信

##### D. メール

エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、  
記入後の調査票を **[info@mm-education.jp](mailto:info@mm-education.jp)** まで返信

**【問い合わせ先】** 交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）／TEL 03-3221-7636

■調査会社（調査票の配布・回収）

地域未来研究所（担当：貞松、田子）／TEL 06-4796-8502

■ 貴自治体での平成 28 年度の「交通環境学習」の実施状況についてお伺いします

**問 1** 貴自治体では昨年度、「交通環境学習」を実施しましたか？（1つに○）

※学校からの依頼で行ったものや交通事業者や運輸局等の取組みに協力して実施したものも含まれます。

1. 実施した →副問 1.1へ
2. 過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった →副問 1.2へ

**副問 1.1** 問1で「1」とお答えの方にお伺いします。

「交通環境学習」を継続的に実施できる理由は何ですか？（いくつでも）

1. 効果が期待できる  
（具体的に期待している効果は何ですか： )
2. 学校や交通事業者等が主体となって実施している
3. 学校からの要請がある
4. 自治体の方針や計画に位置づけられている
5. その他（具体的に： )

→副問 1.1 のあとは、問 2 へ

**副問 1.2** 問1で「2」とお答えの方にお伺いします。

「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？（いくつでも）

1. 取組み方法がわからない
2. 担当部課の人手不足
3. 予算が確保できない
4. 効果が分からない
5. 学校の協力が得られない
6. 教材の作成や準備が大変
7. その他（具体的に： )

→副問 1.2 のあとは、3 ページの問 4 へ

**問 2** 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします

(1)それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

1. 実施した →副問 2.1へ
2. 実施していない →(2)へ

**副問 2.1** (1)で「1」とお答えの方にお伺いします。

授業の実施主体をお答えください。（いくつでも）

1. 貴自治体が学校に依頼して実施
2. 自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施
3. 各学校が独自カリキュラムで取組み
4. 出前講座として学校からの依頼に対応
5. 国や都道府県、交通事業者等が主体となり実施
6. その他（具体的に： )

(2)それは、イベント（フォーラム、バスマつり等）として実施しましたか？

1. 実施した →副問2.2へ
2. 実施していない →(3)へ

**副問 2.2** (2)で「1」とお答えの方にお伺いします。  
 イベントの実施主体をお答えください。(いくつでも)

1. 貴自治体が主体となり実施
2. 国や都道府県が主体となり実施
3. 交通事業者が主体となり実施
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

(3)それは、授業やイベント以外にどのような方法で実施しましたか？

具体的に： \_\_\_\_\_

**問 3** 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

内 容		対象者				
		小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座 学	バスや電車等の乗り方の座学					
	地球環境問題と交通に関する座学					
体 験 型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室					
	交通すごろく※1					
	フードマイレージ※2					
そ の 他	(具体的に： _____ )					
	(具体的に： _____ )					

※1 交通すごろく：すごろくゲームで、交通と環境の関係を学習

※2 フードマイレージ：買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

**■ 今後の「交通環境学習」についてお伺いします**

**問 4** 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 教育委員会の理解が得られない
2. 具体的な取組み内容がわからない
3. 学校の協力が得られない（アプローチの仕方がわからない）
4. 交通事業者の協力を得られない
5. 期待した効果が得られない
6. 教材の準備などが大変
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 具体的事例を知る機会が少ない
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

**問5** 今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

具体的に：

**■ アンケートの回答方法について教えてください**

**問6** 今回のアンケートは、インターネットやFAX、メールでも回答いただけるようにしています。今後、同様のアンケートを実施する場合に、回答しやすい方法をお答えください。(いくつでも)

- 1. インターネット
- 2. FAX
- 3. メール
- 4. 郵送

**問7** 回答しやすい理由を具体的にお書きください。

具体的に：

**■ 最後に、貴自治体やご回答者について教えてください**

● 本アンケートのご回答者 ※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

自治体名		担当部署	
氏名		役職	
TEL		FAX	e-mail

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。  
ご記入が済んだアンケートは、11月30日(木)までに、送付願います。

## 「鉄道やバスを教材とした学習」に関する調査

### ご協力をお願い

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団では、「学校と連携した交通と環境問題に関する授業や児童や生徒、学生を対象とした交通と環境問題に関する学習（以下、「交通環境学習」と記載します）」のより一層の普及を目的として、今年度も引き続き、全国の自治体での取組状況や課題等を把握するためのアンケート調査を実施することとなりました。

なお、集計結果は、交通環境学習ポータルサイト (<http://www.mm-education.jp/>) での公表を予定するとともに、ご回答いただいた自治体の方には、本調査の集計結果や交通環境学習関連情報をご提供させていただきます。（昨年度の結果はポータルサイトからダウンロードできます）

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、何卒ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

#### 「交通環境学習」とは？

「バス」や「鉄道」などを教材に用いた学習のこと。

交通環境学習の  
授業内容例

- ・バスや鉄道の乗り方教室
- ・公共交通を題材とした地球環境問題の学習
- ・環境学習の一環としてのバス・電車を使った校外学習
- ・公共交通を題材としたまちづくり学習
- ・交通すごろく（すごろくゲームで交通と環境問題や渋滞との関係を学習）
- ・フードマイレージ（買物ゲームで輸送時の環境負荷を学習） など

#### ■記入上のご注意

この調査票は、昨年度の交通環境学習の取組みが確認されていない自治体にお送りしています。  
ご回答は、「交通環境学習」に取組まれた場合は、その内容をご存じのご担当者様、  
取組まれていない場合は、公共交通計画等の関係部署のご担当者様をお願いいたします。

#### ■回収の期日

ご記入頂いた調査票は、**11月30日（木）**までに、送付願います。

#### ■調査票の回収方法（A～Dのいずれかの方法で返送ください）

##### A. インターネット

下記交通環境学習ポータルサイトにアクセス後、回答画面にて入力できます

**交通環境学習ポータルサイト <http://www.mm-education.jp/>**

##### B. 郵送

記入後の調査票を同封の「返信用封筒」に入れて、ポストへ投函（切手不要）

##### C. FAX

記入後の調査票を **FAX 06-4796-8509** まで返信

##### D. メール

エコモ財団ホームページから調査票をダウンロードいただき、  
記入後の調査票を **info@mm-education.jp** まで返信

**【問い合わせ先】** 交通エコロジー・モビリティ財団（担当：岡本）／TEL 03-3221-7636

■調査会社（調査票の配布・回収）

地域未来研究所（担当：貞松、田子）／TEL 06-4796-8502



■ 貴自治体での平成 28 年度の「交通環境学習」の実施状況についてお伺いします

**問 1** 貴自治体では昨年度、児童や生徒、学生を対象にした「交通環境学習」を実施しましたか？（1 つに○）

※学校からの依頼で行ったものや交通事業者や運輸局等の取組みに協力して実施したものも含まれます。

1. 実施した →問 2 へ
2. 過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった →副問 1.1 へ
3. これまで実施したことがない →副問 1.1 へ

**副問 1.1** 問 1 で「2」、「3」とお答えの方にお伺いします。

(1) 「交通環境学習」に取り組む意向はありましたか？（1 つに○）

1. 取組みに向けて検討したが断念した
2. 関心はあったが検討しなかった
3. 関心もない

(2) その主な理由は何ですか？（いくつでも）

1. 取組み方法がわからない
2. 担当部課の人手不足
3. 予算が確保できない
4. 効果が分らない
5. 学校の協力が得られない
6. 教材の作成や準備が大変
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

→副問 1.1 のあとは、3 ページの間 4 へ

**問 2** 昨年度、貴自治体で取り組まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします

(1) それは、学校の授業の一環として実施しましたか？

1. 実施した →副問 2.1 へ
2. 実施していない →(2) へ

**副問 2.1** (1) で「1」とお答えの方にお伺いします。  
授業の実施主体をお答えください。（いくつでも）

1. 貴自治体が学校に依頼して実施
2. 自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施
3. 各学校が独自カリキュラムで取組み
4. 出前講座として学校からの依頼に対応
5. 国や都道府県、交通事業者等が主体となり実施
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

(2)それは、イベント（フォーラム、バスまつり等）として実施しましたか？

1. 実施した →副問2.2へ
2. 実施していない →(3)へ

**副問 2.2** (2)で「1」とお答えの方にお伺いします。イベントの実施主体をお答えください。(いくつでも)

1. 貴自治体が主体となり実施
2. 国や都道府県が主体となり実施
3. 交通事業者が主体となり実施
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

(3)それは、授業やイベント以外にどのような方法で実施しましたか？

具体的に： \_\_\_\_\_

**問3** 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

内 容		対象者				
		小学生	中学生	高校生	大学生	その他
座学	バスや電車等の乗り方の座学					
	地球環境問題と交通に関する座学					
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室					
	交通すごろく※1					
	フードマイレージ※2					
その他	(具体的に： _____ )					
	(具体的に： _____ )					

※1 交通すごろく：すごろくゲームで、交通と環境の関係を学習

※2 フードマイレージ：買物ゲームで輸送時の環境改善を学習

**■ 今後の「交通環境学習」についてお伺いします**

**問4** 今後、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？（1つに○）

1. 取り組む予定がある
2. 予定はないが、機会があれば取り組む
3. 取り組まないと思う
4. 今後はわからない

**問5** 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

1. 教育委員会の理解が得られない
2. 具体的な取組み内容がわからない
3. 学校の協力が得られない（アプローチの仕方がわからない）
4. 交通事業者の協力が得られない
5. 期待した効果が得られない
6. 教材の準備などが大変
7. 進め方について相談できる窓口がない
8. 具体的事例を知る機会が少ない
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**問6** 仮に、今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

具体的に：

**■ アンケートの回答方法について教えてください**

**問7** 今回のアンケートは、インターネットやFAX、メールでも回答いただけるようにしています。今後、同様のアンケートを実施する場合に、回答しやすい方法をお答えください。（いくつでも）

1. インターネット
2. FAX
3. メール
4. 郵送

**問8** 回答しやすい理由を具体的にお書きください。

具体的に：

**■ 最後に、貴自治体やご回答者について教えてください**

- 本アンケートのご回答者 ※不明点などについて、お問い合わせさせていただく場合があります。

自治体名		担当部署	
氏名		役職	
TEL		FAX	e-mail

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。  
ご記入が済んだアンケートは、11月30日(木)までに、送付願います。

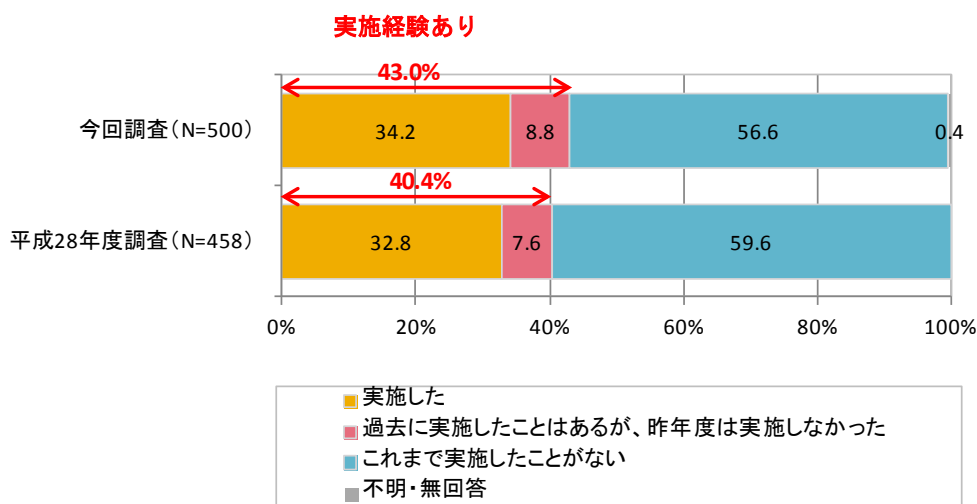
## 2.2 アンケートの結果

### (1) 「交通環境学習」の実施状況

#### ① 「交通環境学習」の実施

問1 貴自治体では昨年度、児童や生徒、学生を対象にした「交通環境学習」を実施しましたか？  
(1つに○)

- 交通環境学習の実施状況は、「実施した」が34.2%で、「過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった」(8.8%)を含めると今まで実施実績がある自治体は43.0%となっている。
- 昨年度調査と比べて、実施した自治体は1.4ポイント増加している。
- 地方別にみると、中国(60.0%)、近畿(55.8%)、北海道(52.4%)、中部(50.5%)、北陸(50.0%)では半数以上の自治体に実施実績がある。
- 都道府県の実施率は50.0%、市区の実施率は42.5%となっており、市区について人口規模別にみると、人口規模が大きいほど実施率が高く、50万人以上の自治体では9割近くを占める。



選択肢	今回調査		平成28年度調査		平成25年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 実施した	171	34.2	150	32.8	35	21.1
2 過去に実施したことはあるが、昨年度は実施しなかった	44	8.8	35	7.6	7	4.2
3 これまで実施したことがない	283	56.6	273	59.6	124	74.7
不明・無回答	2	0.4	0	0.0	0	0.0
合計	500	100.0	458	100.0	166	100.0
実施したことがある	215	43.0	185	40.4	42	25.3

図 2-2 「交通環境学習」の実施

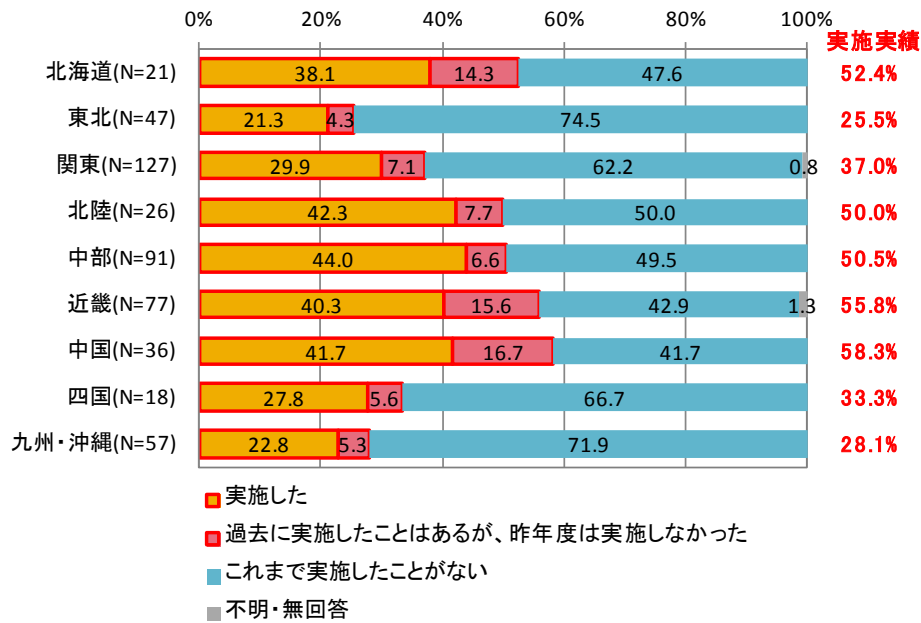


図 2-3 地方別「交通環境学習」の実施状況

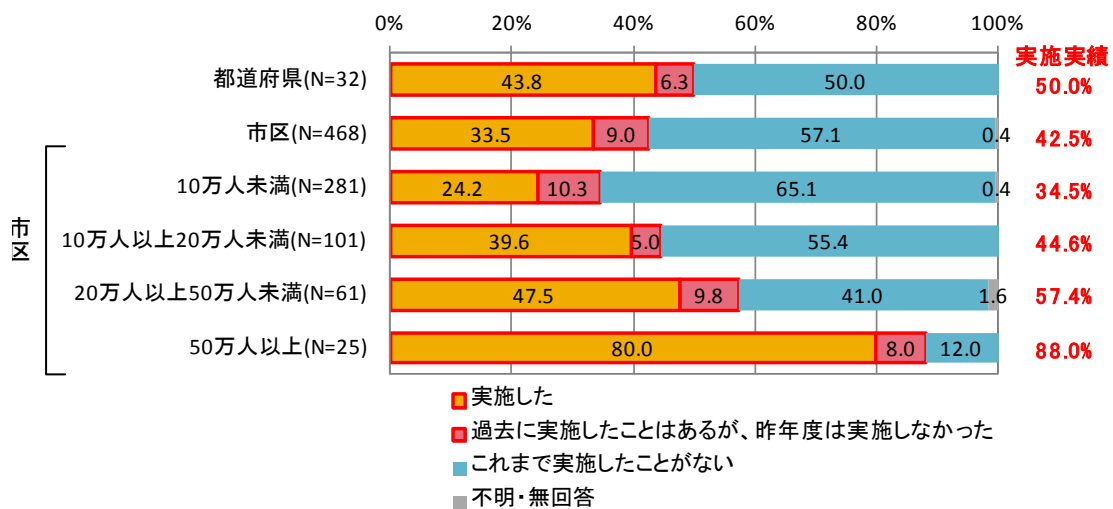


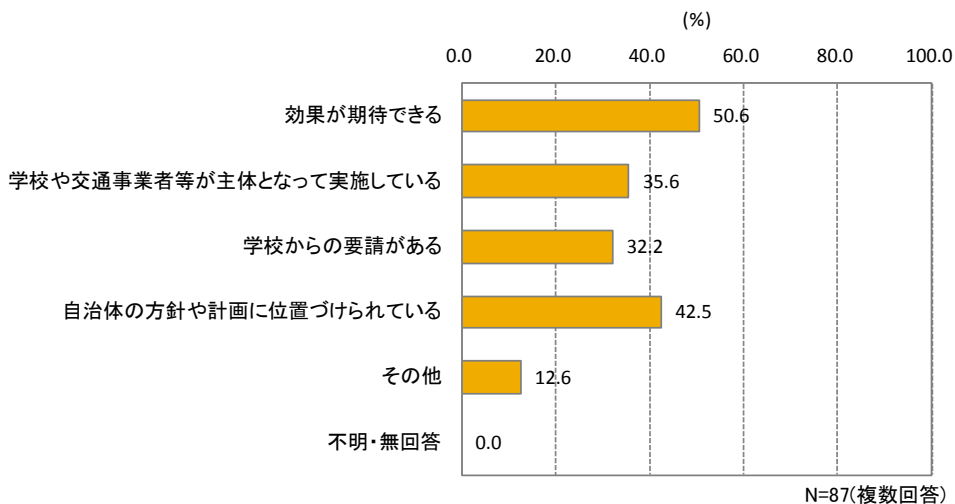
図 2-4 人口規模別「交通環境学習」の実施状況

② 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由

(昨年度調査で取組みが確認された自治体のみ)の設問)

〈問1で「1」とお答えの方にお伺いします。〉  
副問「交通環境学習」を継続的に実施できる理由は何ですか？(いくつでも)

- 昨年度調査で実施が確認された自治体に、交通環境学習を継続的に実施できる理由をお聞きしたところ、「効果が期待できる」が50.6%と回答者の約半数を占め、次いで「自治体の方針や計画に位置づけられている」が42.5%、「学校や交通事業者が主体となって実施している」が35.6%となっている。「学校からの要請がある」も32.2%あった。
- 具体的に期待する効果としては、「公共交通の利用促進・利用者増」が最も多い。



選択肢	回答数 (件)	構成比 (%)
1 効果が期待できる	44	50.6
2 学校や交通事業者等が主体となって実施している	31	35.6
3 学校からの要請がある	28	32.2
4 自治体の方針や計画に位置づけられている	37	42.5
5 その他	11	12.6
不明・無回答	0	0.0
合計	87	100.0

図 2-5 「交通環境学習」を継続的に実施できる理由

■ 「1. 期待する効果」の具体的な内容

分類項目	件数(件)
公共交通の利用促進・利用者増	26
公共交通に興味を持ってもらう・認知してもらう	10
安全な利用・マナー向上	5
その他	3

■ 「5. その他」の主な内容

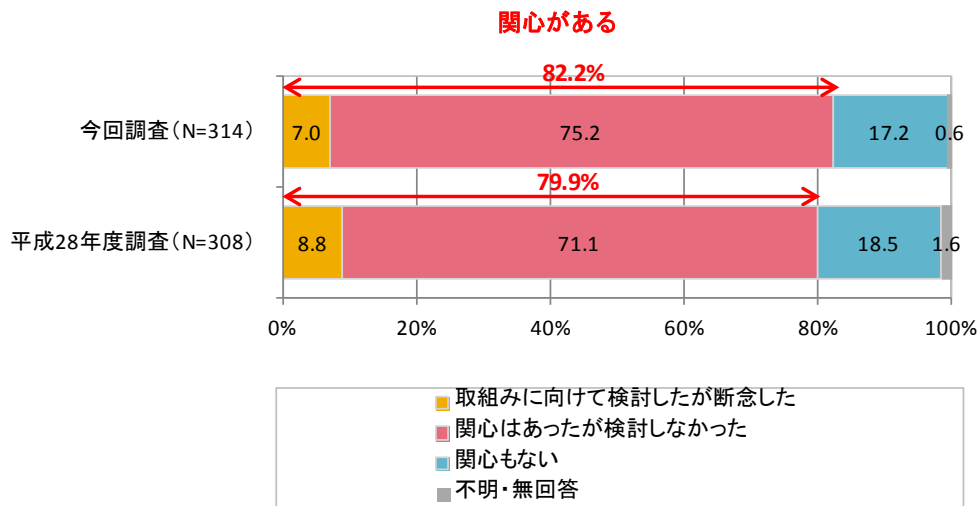
分類項目	件数(件)
学校や地元団体が協力的である	3
学校や交通事業者以外で実施主体となる団体がある	2
その他	2

③ 「交通環境学習」に取り組む意向（昨年度調査で取組みが確認されなかった自治体のみ設問）

〈問1で「2」、「3」とお答えの方にお伺いします。〉

副問「交通環境学習」に取り組む意向はありましたか？（1つに○）

- 「関心はあったが検討しなかった」が75.2%と最も多く、次いで「関心もない」が17.2%、「検討したが断念した」は7.0%となっている。「関心はあったが検討しなかった」も含めた関心のある自治体は82.2%と約8割を超え、平成28年度調査と比較すると、関心度は2.3ポイント上昇している。
- 都道府県の関心度は83.3%、市区の関心度は82.1%であるが、市区について人口規模別にみると、人口規模が大きいほど関心度は高くなり、50万人以上の市区では100%となった。



選択肢	今回調査		平成28年度調査		平成25年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 取組みに向けて検討したが断念した	22	7.0	27	8.8	10	8.1
2 関心はあったが検討しなかった	236	75.2	219	71.1	81	65.3
3 関心もない	54	17.2	57	18.5	27	21.8
不明・無回答	2	0.6	5	1.6	6	4.8
合計	314	100.0	308	100.0	124	100.0
関心がある	258	82.2	246	79.9	91	73.4

図 2-6 「交通環境学習」に取り組む意向

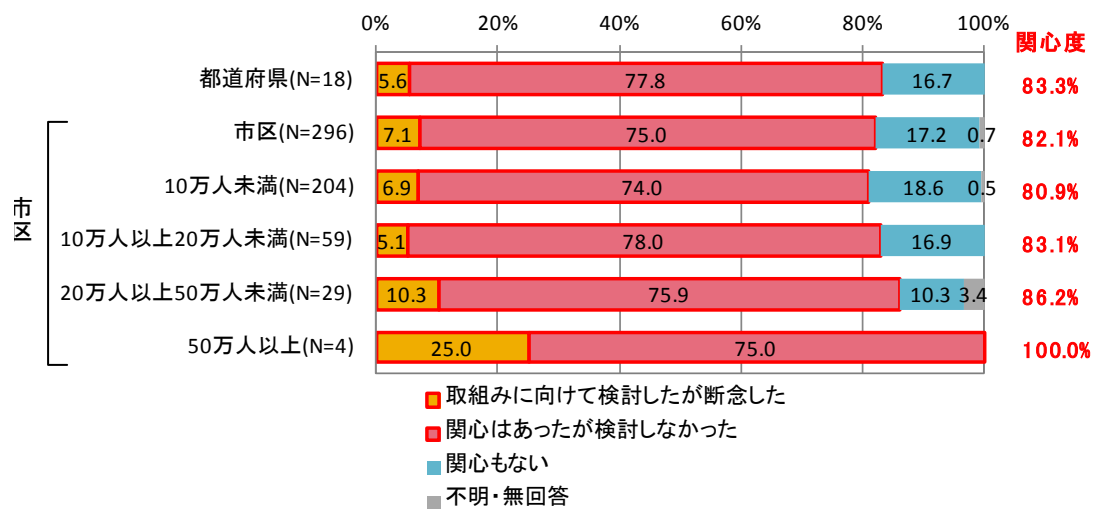


図 2-7 自治体規模別「交通環境学習」に取り組む意向

【実施状況別（問1）・取組み意向】

- 実施状況別にみると、過去に実施したことのある自治体の方が、取組みへの関心度が高いことが伺える。

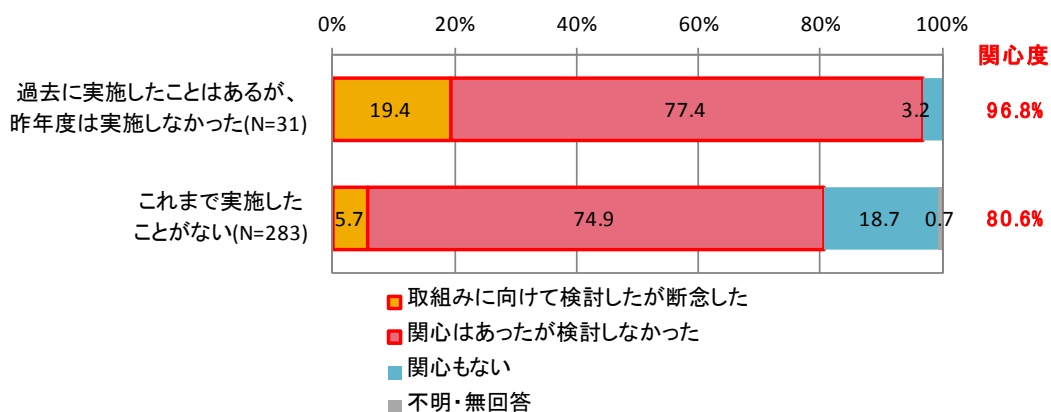


図 2-8 実施状況別「交通環境学習」に取り組む意向

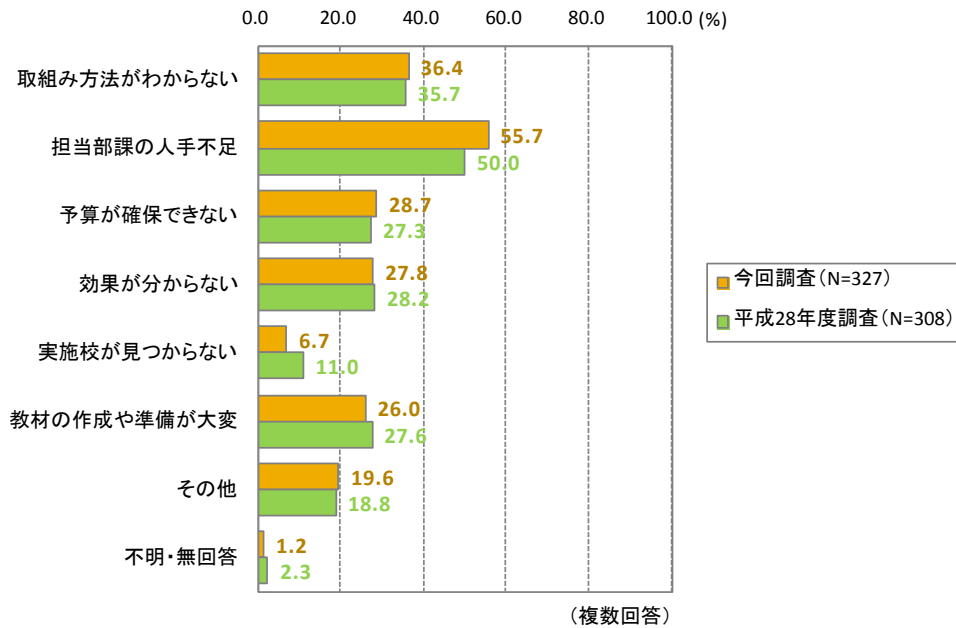


#### ④ 実施しなかった理由

〈問1で「2」、「3」とお答えの方にお伺いします。〉

副問「交通環境学習」を実施しなかった理由は何ですか？（いくつでも）

- 「担当部課の人手不足」が 55.7%と回答者の半数以上を占め、次いで「取組み方法がわからない」が 36.4%、「予算が確保できない」と「効果がわからない」がそれぞれ 27.8%、「教材の作成や準備が大変」が 26.0%と続き、平成 28 年度調査と比べて大きな変化はない。
- その他の主な意見は、「他に優先すべき施策がある」（15 件）、「必要性がない」（12 件）、「学校や交通事業者の協力が得られない」（10 件）となっている。



選択肢	今回調査		平成28年度調査		平成25年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 取組み方法がわからない	119	36.4	110	35.7	34	27.4
2 担当部課の人手不足	182	55.7	154	50.0	45	36.3
3 予算が確保できない	94	28.7	84	27.3	20	16.1
4 効果が分らない	91	27.8	87	28.2	28	22.6
5 実施校が見つからない	22	6.7	34	11.0	6	4.8
6 教材の作成や準備が大変	85	26.0	85	27.6	13	10.5
自治体内の理解を得られない※	-	-	-	-	3	2.4
どのようなことを教えたらいいかわからない※	-	-	-	-	31	25.0
交通事業者の協力を得られない※	-	-	-	-	1	0.8
7 その他	64	19.6	58	18.8	38	30.6
不明・無回答	4	1.2	7	2.3	2	1.6
合計	327	100.0	308	100.0	124	100.0

※は平成 25 年度調査のみの設問項目

図 2-9 実施しなかった理由

■ 「7. その他」の主な意見

分類項目	件数(件)
他に優先する施策がある	15
必要性がない	12
学校や交通事業者の協力が得られない	10
交通事業者等が取り組んでいる	6
今年度以降取組んだ・取組む予定がある	6
小学校が取り組んでいる	4
市町村が取り組むべき	1
その他	10

○ 都道府県・市区共に「担当課の人手不足」が最も多く挙げられているが、市区の方がより顕著である。また、市区では、人口規模が小さくなるほど「取組み方法がわからない」の割合が高くなっており、情報不足が課題となっていることが伺える。逆に「実施校が見つからない」の割合は人口規模が大きくなるほど高くなってきている。

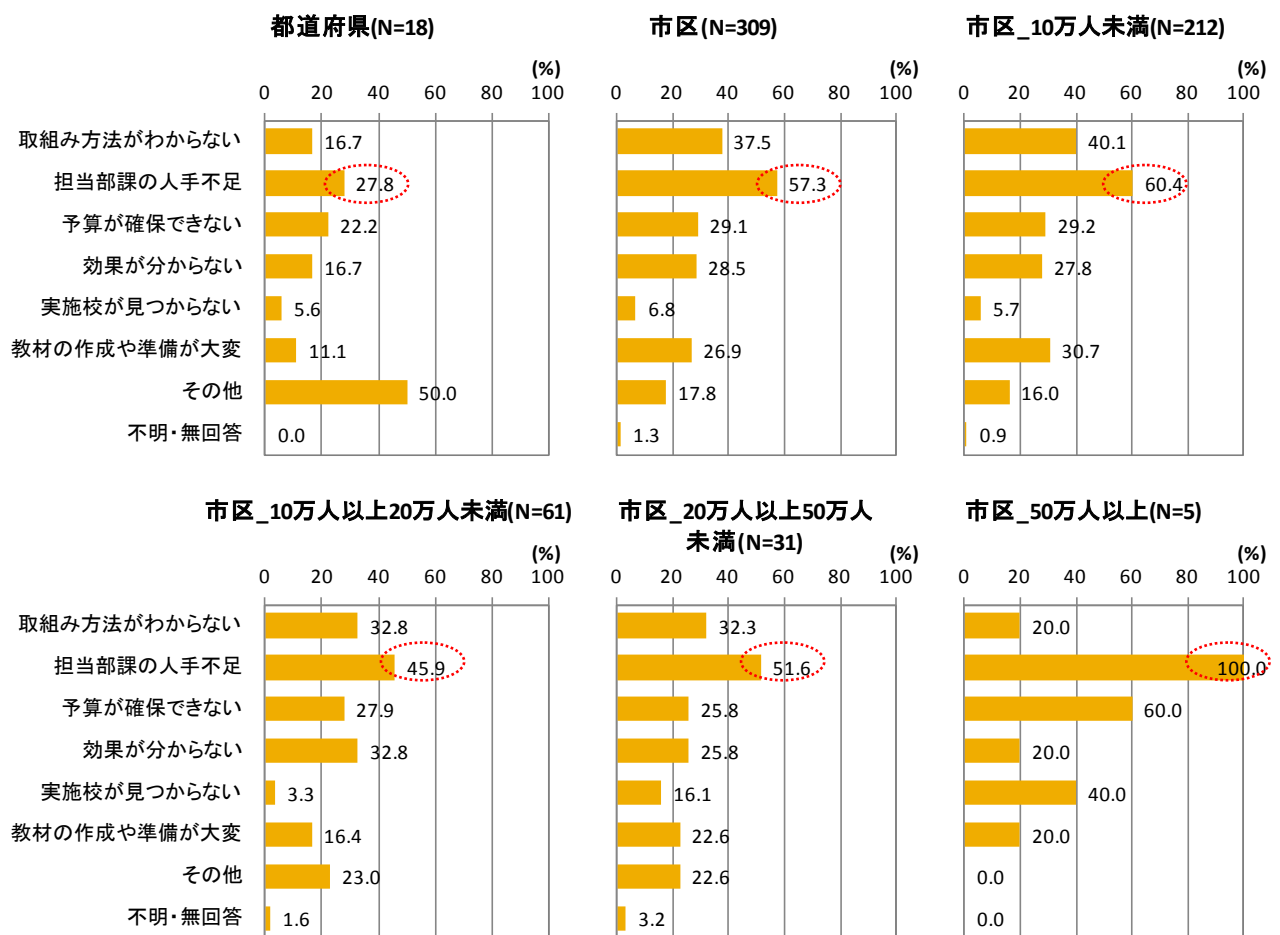


図 2-10 人口規模別実施しなかった理由

### 【取組み意向別（問1）・実施しなかった理由】

- 検討したが断念した自治体・関心はあったが検討しなかった自治体共に、「担当部課の人手不足」が最も多く、人手不足が課題となっていることが伺える。
- 関心はあったが検討しなかった自治体では、「取組み方法がわからない」という回答も多く、情報不足やノウハウ不足により検討まで至らなかったということが伺える。

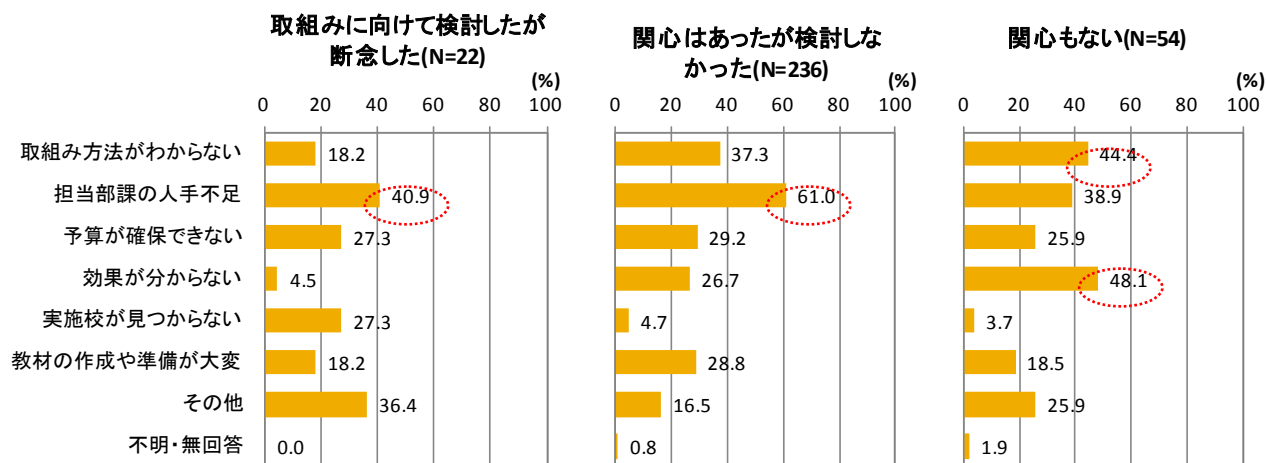


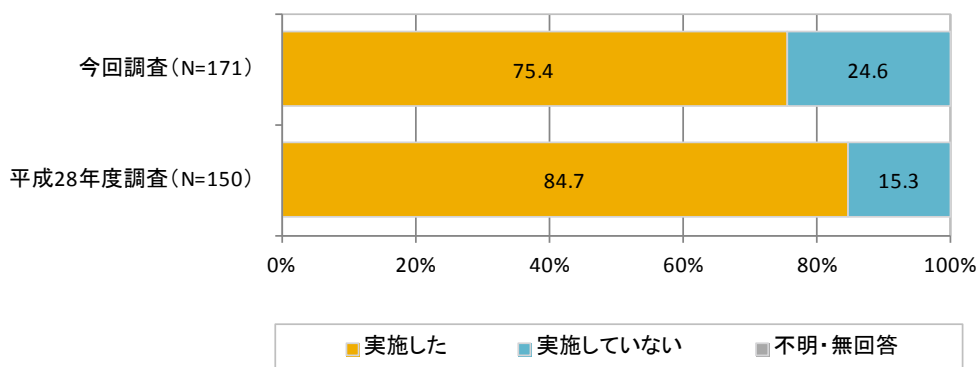
図 2-11 取組み意向別の実施しなかった理由

(2) 「交通環境学習」の実施方法 (問1で「1.実施した」と回答した自治体のみ)の設問)

① 授業の一環としての「交通環境学習」の実施

問2 昨年度、貴自治体で取り込まれた「交通環境学習」の実施方法についてお伺いします  
 (1)それは、学校の授業の一環として実施しましたか

- 学校の授業の一環として「実施した」が75.4%と大多数を占める。
- 地方別にみると、北陸、近畿や中国で授業の一環として「実施した」割合が高い。一方、東北や関東、四国では低くなっている。



選択肢	今回調査		平成28年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 実施した	129	75.4	127	84.7
2 実施していない	42	24.6	23	15.3
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	171	100.0	150	100.0

図 2-12 「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

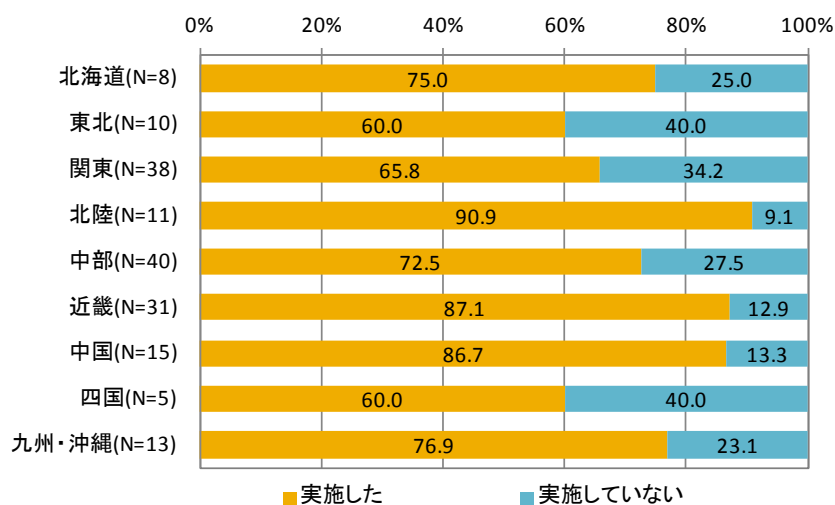


図 2-13 地方別「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

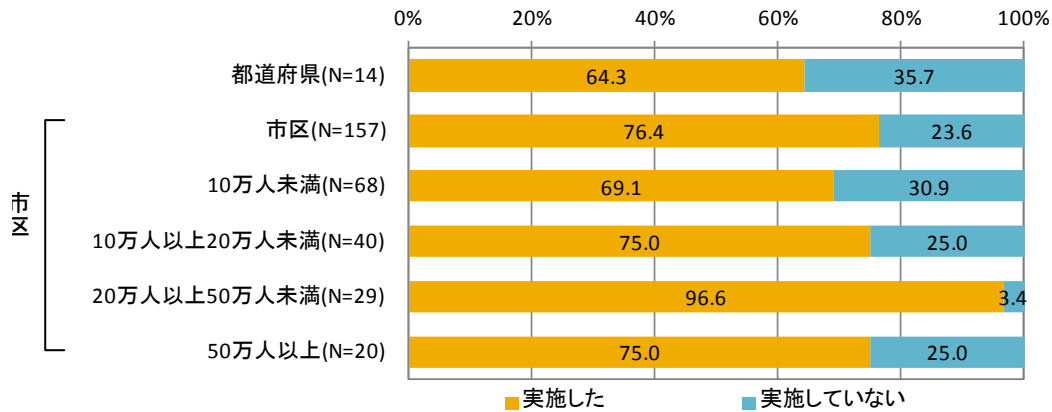


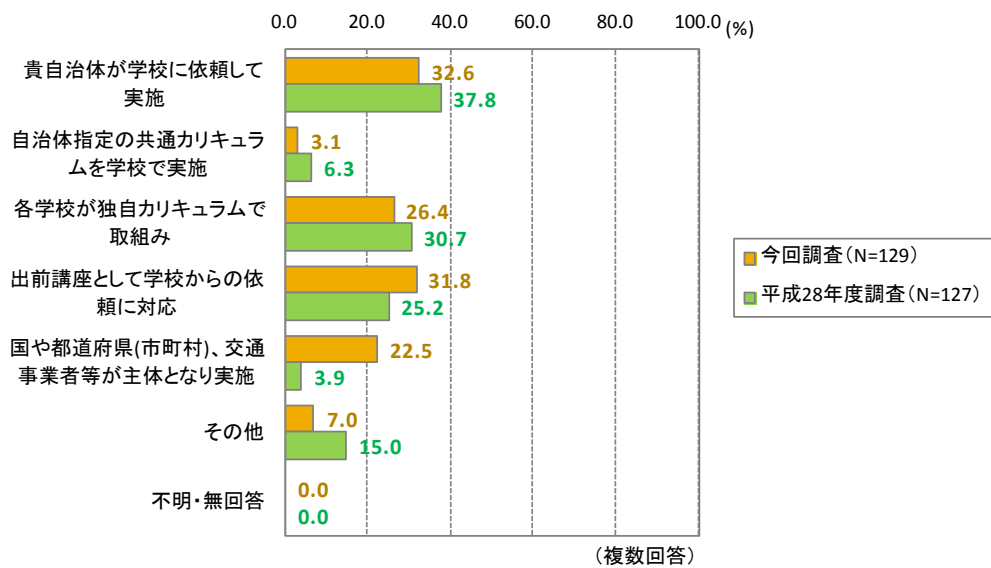
図 2-14 人口規模別「交通環境学習」の学校の授業の一環としての実施

## ② 授業の実施主体

〈(1) で「1」とお答えの方にお伺いします。〉

副問2.1 授業の実施主体をお答えください。(いくつでも)

- 「貴自治体が学校に依頼して実施」が 32.6%と最も多く、次いで「出前講座として学校からの依頼に対応」が 31.8%、「各学校が独自カリキュラムで取組み」が 26.4%の順となっている。
- 平成 28 年度調査と比較すると、「各学校が独自カリキュラムで取組み」は 4.3 ポイント減少したものの、「出前講座として学校からの依頼に対応」が 6.6 ポイント増加している。
- 北海道、九州・沖縄では「貴団体が学校に依頼して実施」の割合が高いが、北陸、中国は「出前講座として学校からの依頼に対応」の割合が高い。中部、近畿は「貴団体が学校に依頼して実施」、「出前講座として学校からの依頼に対応」の二つが同率で高い。関東、四国では「国や都道府県(市町村)、交通事業者等が主体となり実施」の割合が最も高い。



選択肢	今回調査		平成28年度調査		平成25年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 貴自治体が学校に依頼して実施	42	32.6	48	37.8	21	50.0
2 自治体指定の共通カリキュラムを学校で実施	4	3.1	8	6.3	1	2.4
3 各学校が独自カリキュラムで取組み	34	26.4	39	30.7	2	4.8
4 出前講座として学校からの依頼に対応	41	31.8	32	25.2	17	40.5
5 国や都道府県(市町村)、交通事業者等が主体となり実施	29	22.5	5	3.9	-	-
6 その他	9	7.0	19	15.0	10	23.8
不明・無回答	0	0.0	0	0.0	1	2.4
合計	129	100.0	127	100.0	42	100.0

図 2-15 授業の実施主体

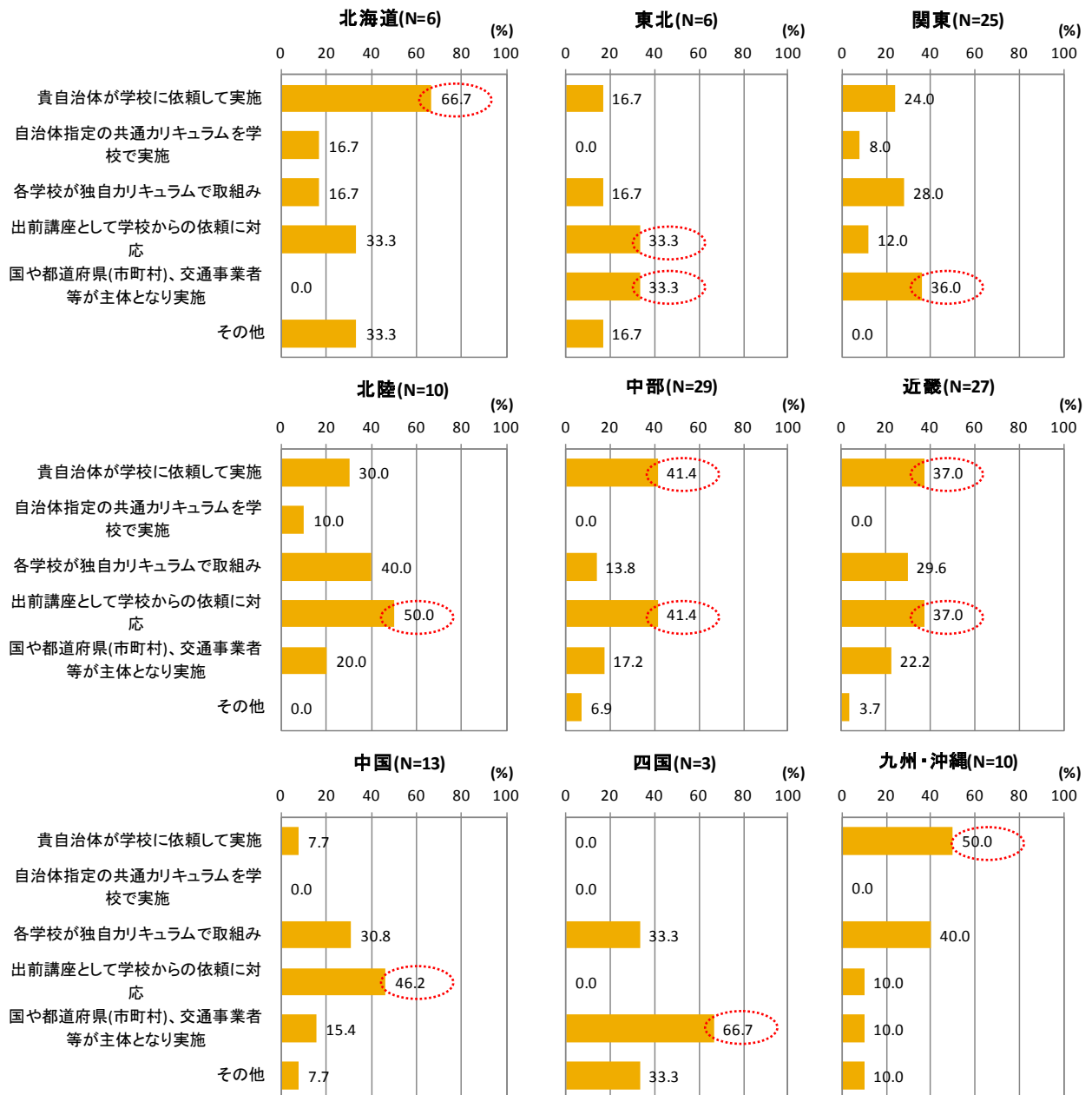


図 2-16 地方別授業の実施主体 (複数回答)

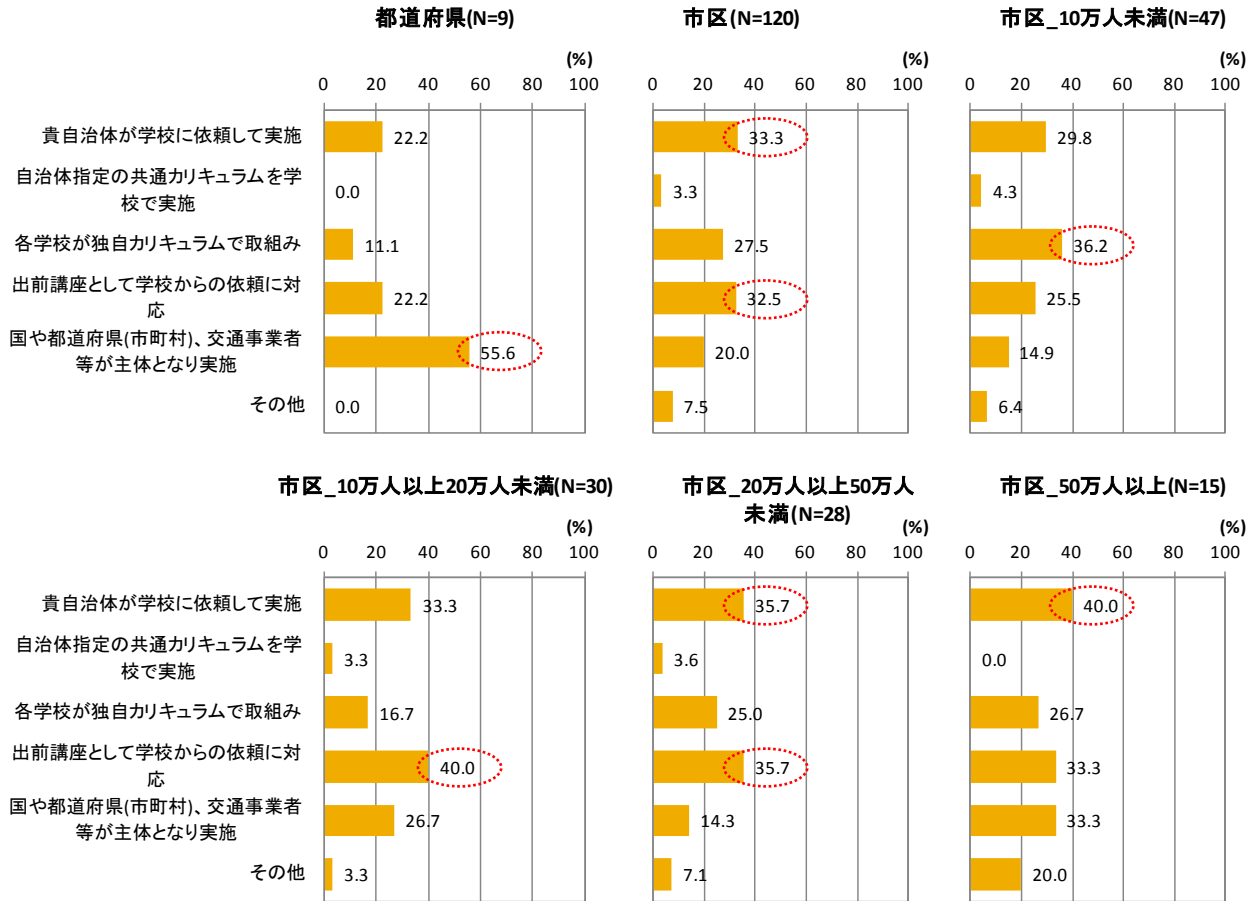
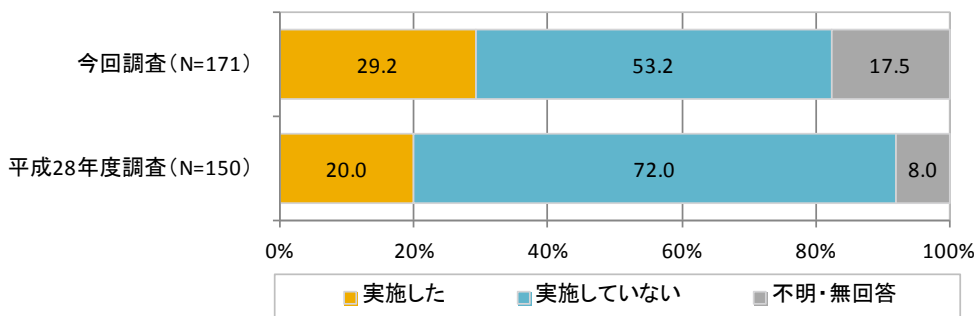


図 2-17 人口規模別授業の実施主体（複数回答）

### ③ イベントとしての「交通環境学習」の実施

#### (2) それは、イベントとして実施しましたか

○ 「イベントとして実施した」は 29.2%で、「実施していない」が 53.2%となっている。



選択肢	今回調査		平成28年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 実施した	50	29.2	30	20.0
2 実施していない	91	53.2	108	72.0
不明・無回答	30	17.5	12	8.0
合計	171	100.0	150	100.0

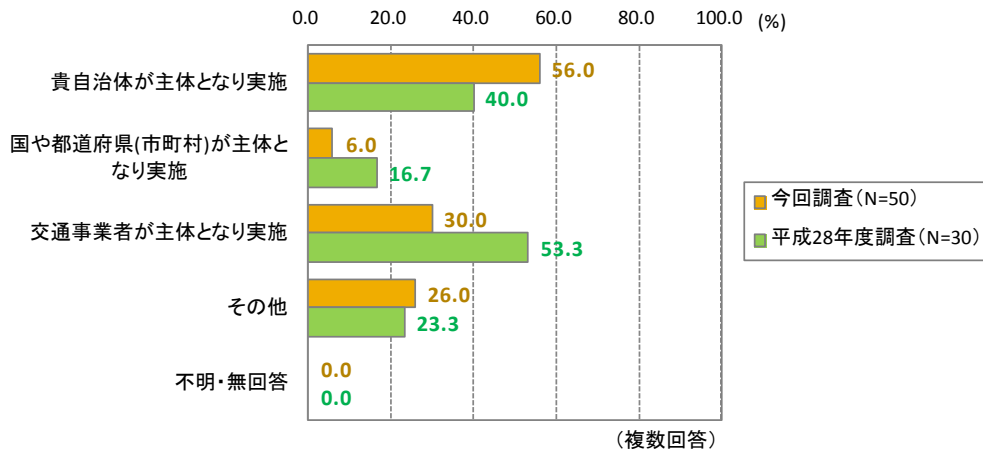
図 2-18 「交通環境学習」のイベントとしての実施

#### ④ イベントの実施主体

く(2) で「1」とお答えの方にお伺いします。

副問2.2 イベントの実施主体をお答えください。(いくつでも)

- 「自治体」が 56.0%と回答者の過半数を占め、「交通事業者」は 30.0%、「国や都道府県」が 6.0%となっている。



選択肢	今回調査		平成28年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 貴自治体が主体となり実施	28	56.0	12	40.0
2 国や都道府県(市町村)が主体となり実施	3	6.0	5	16.7
3 交通事業者が主体となり実施	15	30.0	16	53.3
4 その他	13	26.0	7	23.3
不明・無回答	0	0.0	0	0.0
合計	50	100.0	30	100.0

図 2-19 イベントの実施主体

#### ⑤ 授業やイベント以外の実施方法

(3)それは、授業やイベント以外にどのような方法で実施しましたか(具体的に)

- 「放課後や休日、長期休暇を利用した学習」が最も多く、次いで「校外学習・遠足と組み合わせた学習」が続く。

表 2-5 授業やイベント以外のやり方での実施方法

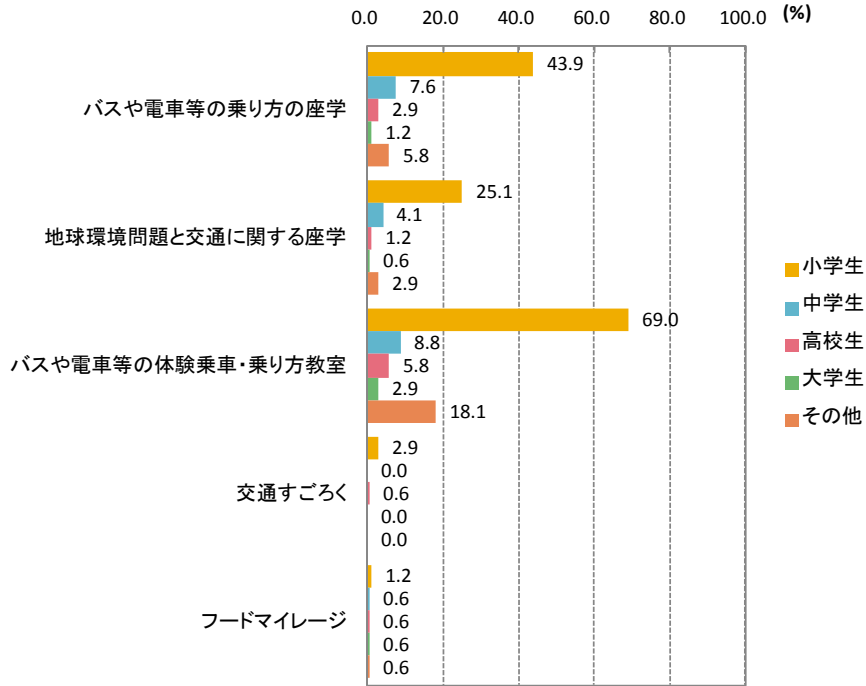
分類項目	件数(件)
放課後や休日、長期休暇を利用した学習	9
校外学習・遠足と組み合わせた学習	8
読み物の配布	4
コンテスト開催・掲示物	4
その他	2



(3) 実施した「交通環境学習」の対象者と内容（問1で「1.実施した」と回答した自治体のみの設問）

問3 実施した「交通環境学習」の対象者と内容は？（枠内の該当する部分に○をご記入ください）

○ 小学生では「バスや電車等の体験乗車・乗り方教室」が最も多く 69.0%を占め、「バスや電車等の乗り方の座学」が 43.9%と続く。



N=171(複数回答) うち不明・無回答除く

今回調査

選択肢	回答数(件)							構成比(%)							
	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	合計	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	合計	
座学	バスや電車等の乗り方の座学	75	13	5	2	10	89	171	43.9	7.6	2.9	1.2	5.8	52.0	100.0
	地球環境問題と交通に関する座学	43	7	2	1	5	125	171	25.1	4.1	1.2	0.6	2.9	73.1	100.0
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室	118	15	10	5	31	40	171	69.0	8.8	5.8	2.9	18.1	23.4	100.0
	交通すごろく	5	0	1	0	0	165	171	2.9	0.0	0.6	0.0	0.0	96.5	100.0
	フードマイレージ	2	1	1	1	1	169	171	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6	98.8	100.0
その他	その他1	24	5	5	7	7	139	171	14.0	2.9	2.9	4.1	4.1	81.3	100.0
	その他2	3	2	0	0	2	167	171	1.8	1.2	0.0	0.0	1.2	97.7	100.0

(複数回答)

平成28年度調査

選択肢	回答数(件)							構成比(%)							
	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	合計	小学生	中学生	高校生	大学生	その他	不明・無回答	合計	
座学	バスや電車等の乗り方の座学	61	7	2	2	10	83	150	40.7	4.7	1.3	1.3	6.7	55.3	100.0
	地球環境問題と交通に関する座学	33	5	0	2	2	113	150	22.0	3.3	0.0	1.3	1.3	75.3	100.0
体験型	バスや電車等の体験乗車・乗り方教室	110	13	10	8	25	34	150	73.3	8.7	6.7	5.3	16.7	22.7	100.0
	交通すごろく	5	0	1	0	0	145	150	3.3	0.0	0.7	0.0	0.0	96.7	100.0
	フードマイレージ	2	0	0	0	1	147	150	1.3	0.0	0.0	0.0	0.7	98.0	100.0
その他	その他1	25	4	2	3	10	116	150	16.7	2.7	1.3	2.0	6.7	77.3	100.0
	その他2	8	2	2	2	3	142	150	5.3	1.3	1.3	1.3	2.0	94.7	100.0

(複数回答)

図 2-20 「交通環境学習」の対象者と内容

■その他の主な取組み

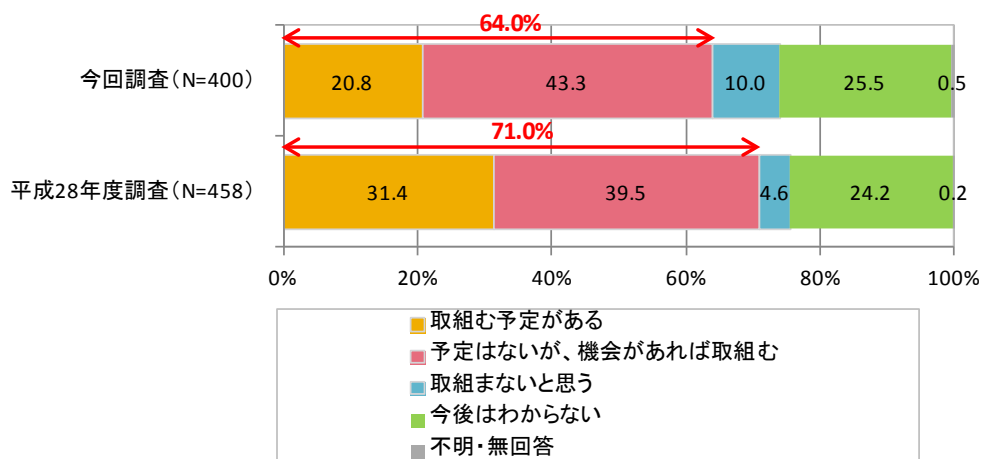
分類項目	件数(件)
調べ学習・フィールドワーク	8
その他の座学	6
イベント(スタンプラリー、紙芝居等)	6
バスのお絵かき・工作	4
バス安全教室	3
車両基地見学	3
バリアフリー教室	2
その他	4

(4) 今後の「交通環境学習」について (昨年度調査で実施が確認されなかった自治体のみの設問)

① 今後「交通環境学習」に取り組む予定

問4 今後、「交通環境学習」に取り組む予定はありますか？(1つに〇)

- 「機会があれば取組む」が43.3%と最も多いが、「取組む予定がある」が20.8%で、「予定はないが、機会があれば取組む」に含めると取り組み意向がある自治体は64.0%となっている。
- 地方別にみると、北海道、北陸、中部で7割が取組意向があると回答。一方、四国、では4割に満たない。
- 都道府県では「取組む予定がある」の割合が高く37.0%。市区では「取組む予定がある」の割合は高くないが、「機会があれば取組む」の割合が高く、取組意向は都道府県と大差がない。



選択肢	今回調査		平成28年度調査		平成25年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 取組む予定がある	83	20.8	144	31.4	36	21.7
2 予定はないが、機会があれば取組む	173	43.3	181	39.5	63	38.0
3 取組まないと思う	40	10.0	21	4.6	12	7.2
4 今後はわからない	102	25.5	111	24.2	49	29.5
不明・無回答	2	0.5	1	0.2	6	3.6
合計	400	100.0	458	100.0	166	100.0
取り組み意向あり	256	64.0	325	71.0	99	59.6

図 2-21 「交通環境学習」に取り組む予定

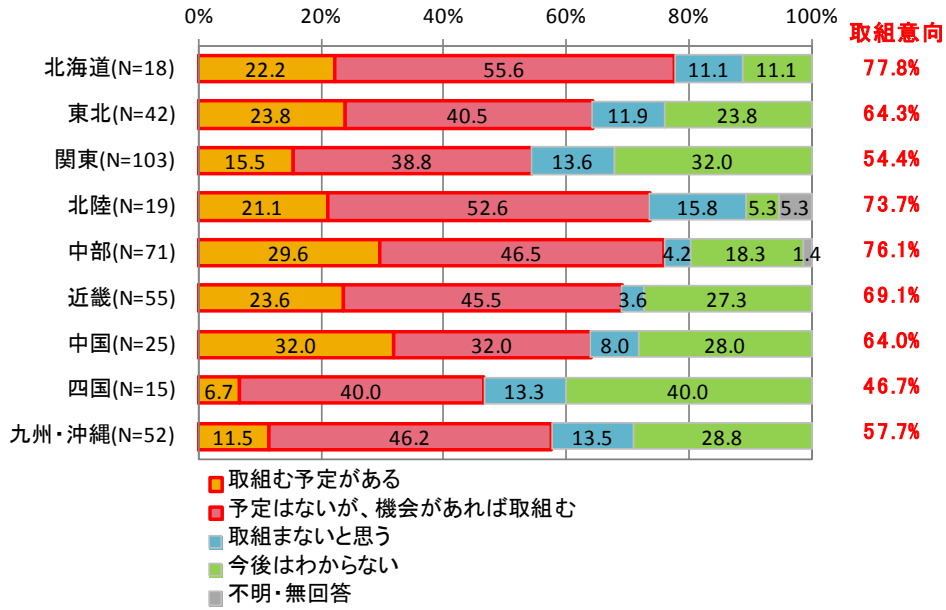


図 2-22 地方別「交通環境学習」に取組む予定

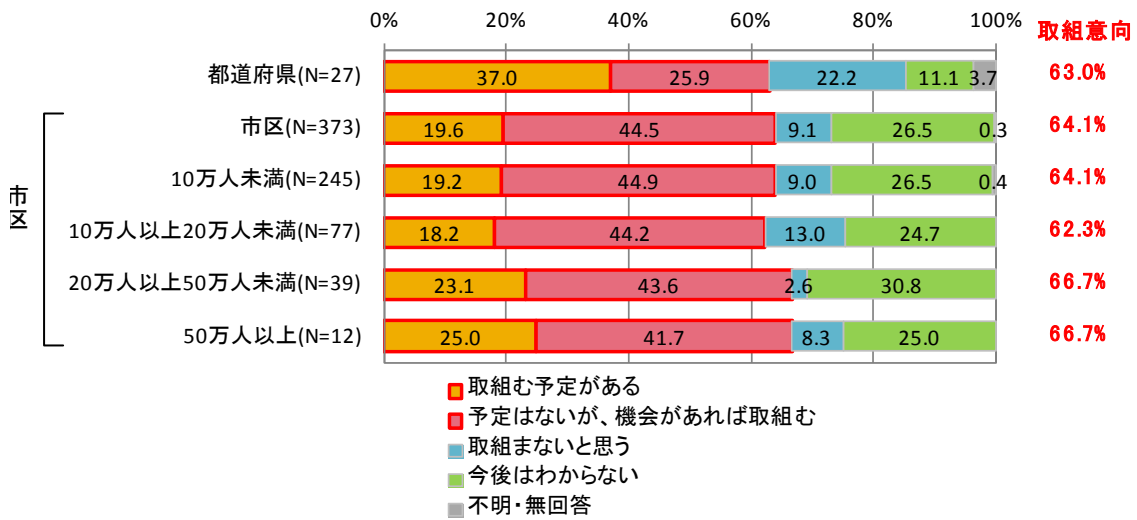


図 2-23 人口規模別「交通環境学習」に取組む予定

### 【実施状況別（問1）・今後の取組み予定】

- 昨年度実施した自治体では9割以上が取組意向を示している。これまで取組んだことがない自治体でも、半数以上が取組意向を示している。

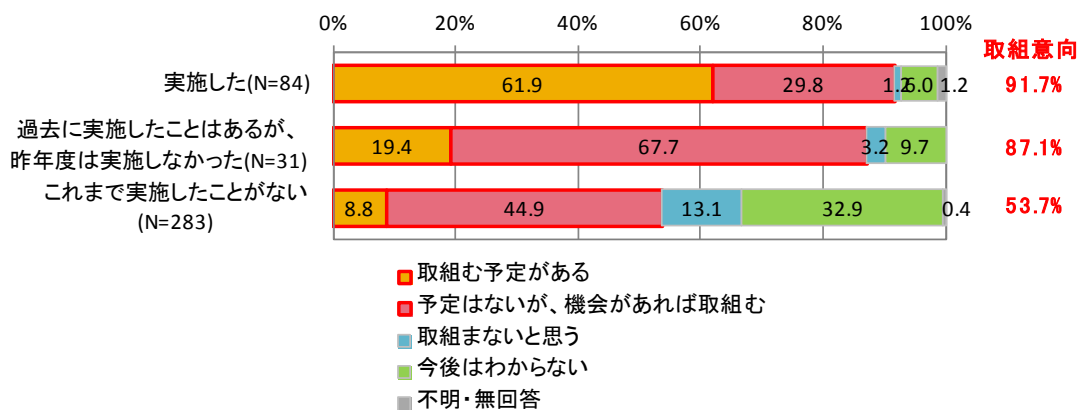
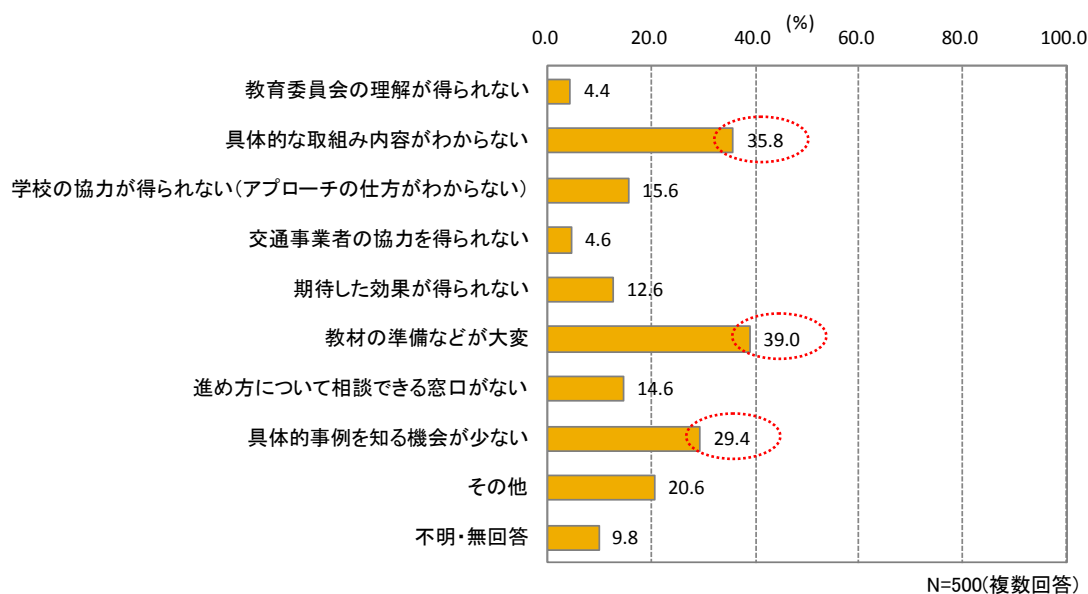


図 2-24 実施実績別「交通環境学習」に取組む予定

### (5) 「交通環境学習」に取組んでいく上での課題や障壁

#### 問5 「交通環境学習」に取組んでいく上での課題や障壁は何ですか？（いくつでも）

- 「教材の準備などが大変」が 39.0%と最も高く、次いで「具体的な取組み内容がわからない」が 35.8%、「具体的事例を知る機会が少ない」が 29.4%の順となっている。
- その他の主な意見は、「担当課の人手不足」(26件)、「教育委員会や学校との調整」(25件)、「予算の確保」(17件)、「効果の把握」(13件)となっている。



選択肢	今回調査		平成28年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 教育委員会の理解が得られない	22	4.4	-	-
2 具体的な取組み内容がわからない	179	35.8	-	-
担当部課の人手不足※	-	-	229	50.0
自治体内の理解が得られない※	-	-	19	4.1
予算不足※	-	-	149	32.5
取組みに関する知識が不足※	-	-	203	44.3
3 学校の協力が得られない(アプローチの仕方がわからない)	78	15.6	62	13.5
4 交通事業者の協力を得られない	23	4.6	14	3.1
5 期待した効果が得られない	63	12.6	42	9.2
6 教材の準備などが大変	195	39.0	137	29.9
7 進め方について相談できる窓口がない	73	14.6	61	13.3
8 具体的な事例を知る機会が少ない	147	29.4	112	24.5
9 その他	103	20.6	52	11.4
不明・無回答	49	9.8	14	3.1
合計	500	100.0	458	100.0

※は平成28年度調査のみの設問項目

図 2-25 「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁

■ 「9. その他」の主な課題や障壁

分類項目	件数(件)
担当課の人員不足	26
教育委員会や学校との調整	25
予算の確保	17
効果の把握	13
交通事業者の問題	5
「交通環境学習」の認知度・優先度の低さ	5
バスの乗り入れ場所の確保	4
教材開発・学習内容	4
その他	8

- 都道府県は「教材の準備などが大変」が 37.5%と最も高く、市区では「具体的な取組み内容がわからない」「教材の準備などが大変」の2つが高くなる傾向があるが、人口 50 万人以上の都市では「具体的な取組み内容がわからない」の割合は低い。

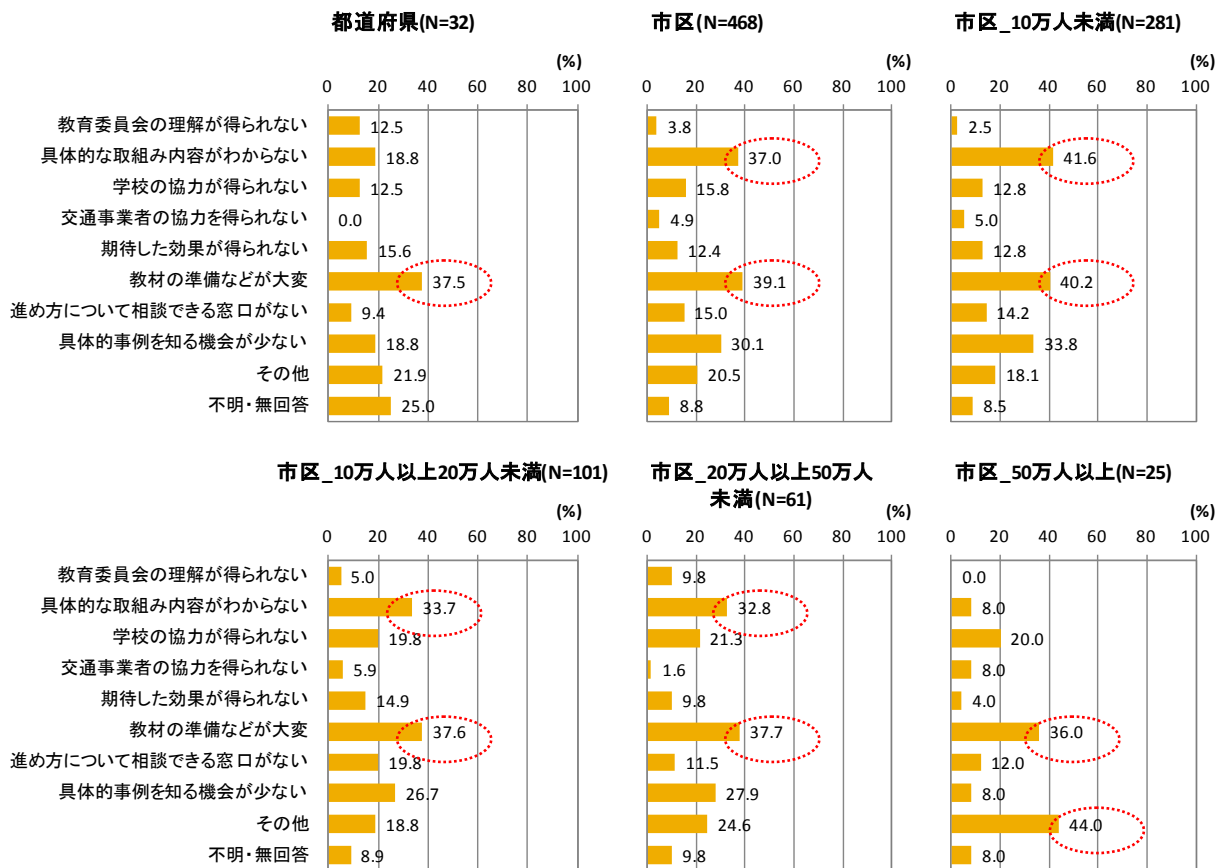


図 2-26 人口規模別「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁（複数回答）

【実施状況別（問1）・「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁】

- 実施状況別にみると、実施した自治体では「教材の準備が大変」が33.3%、過去に実施したことはあるが昨年度は実施しなかった自治体では40.9%と、共に最も高くなっている。
- これまで実施したことがない自治体では、「具体的な取組内容がわからない」が50.9%と最も高く、「教材の準備などが大変」、「具体的な事例を知る機会が少ない」が続く。

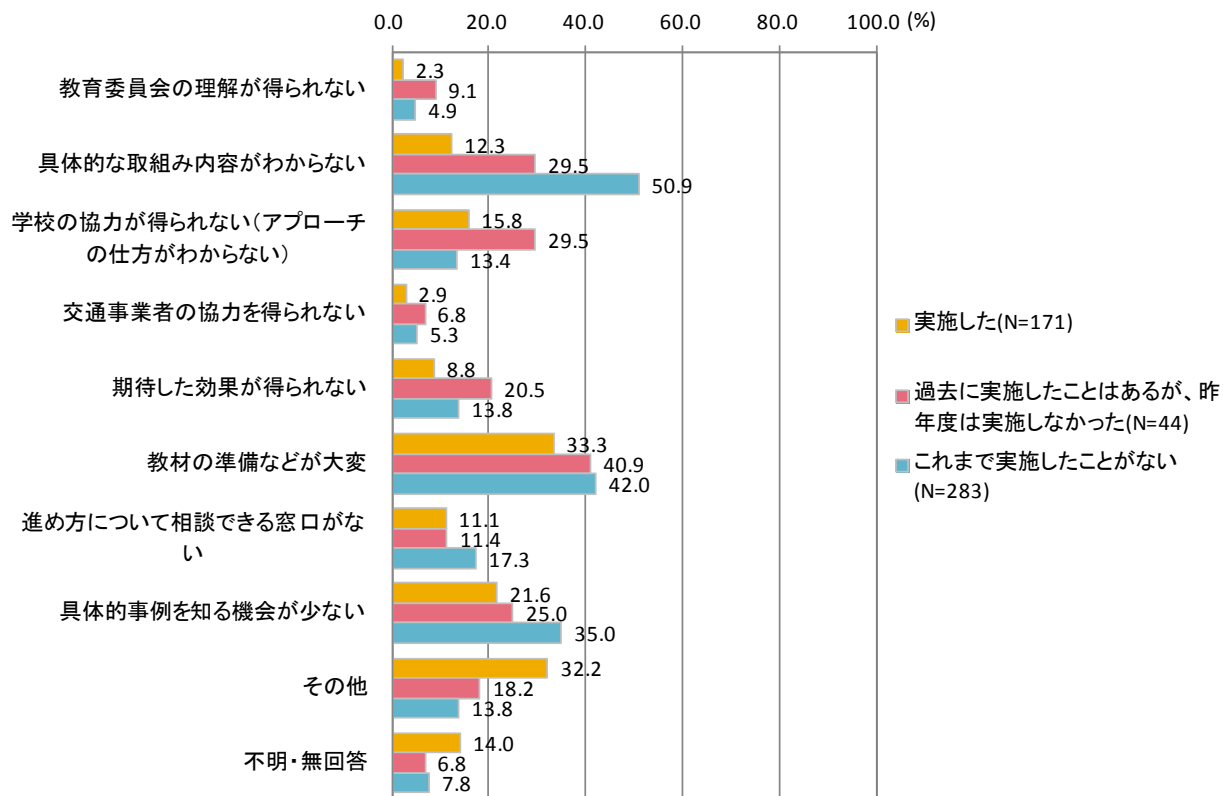


図 2-27 実施状況別「交通環境学習」に取り組んでいく上での課題や障壁（複数回答）



(6) 「交通環境学習」に取り組む場合に予想される問題点や支援して欲しい事柄（自由記述）

問6 仮に、今後、貴自治体において「交通環境学習」に取り組む場合に、予想される問題点や、支援して欲しい事柄などについて、具体的に教えてください。

- 取組みに向けて予想される問題点や支援して欲しい内容について下記の分類で自由意見を整理した。問題や課題に関する意見が 235 件あり、うち「学校の理解・協力・調整」に関することが最も多く 65 件の意見があった。一方、支援内容に関する意見は 194 件で、「学習プログラムや教材の提供」や「事例紹介」に関することが多くなっている。

※なお、ひとつの意見に複数の分類が重なっているため、回答自治体数の合計と一致しない。

表 2-6 取組みに向けて予想される問題点や支援要望内容（自由記述内容）

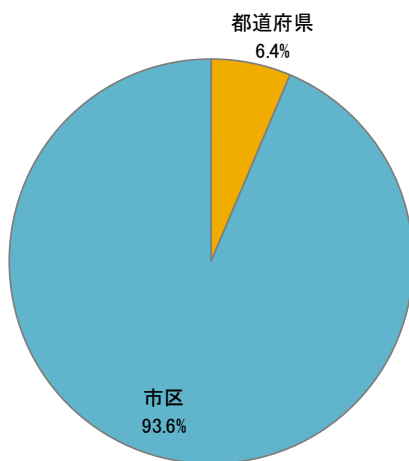
分類項目	件数(件)
<b>予想される問題や課題</b>	<b>235</b>
学校の理解・協力・調整	65
実施校・参加者の確保	11
学習内容・教材の検討	39
予算の確保	22
関係機関の調整	18
効果把握方法	20
庁内の理解、調整	6
人手不足、ノウハウ不足	35
その他	19
<b>支援してほしい事柄</b>	<b>194</b>
事例紹介	52
学習プログラム・教材の提供	62
ノウハウ提供、相談体制、研修会	26
費用負担・補助	19
講師等人員の派遣	11
効果検証の方法	7
アプローチ方法	5
その他	12

### 3. 回答者属性

#### 3.1.1 回答者属性

最後に、貴自治体やご回答者について教えてください

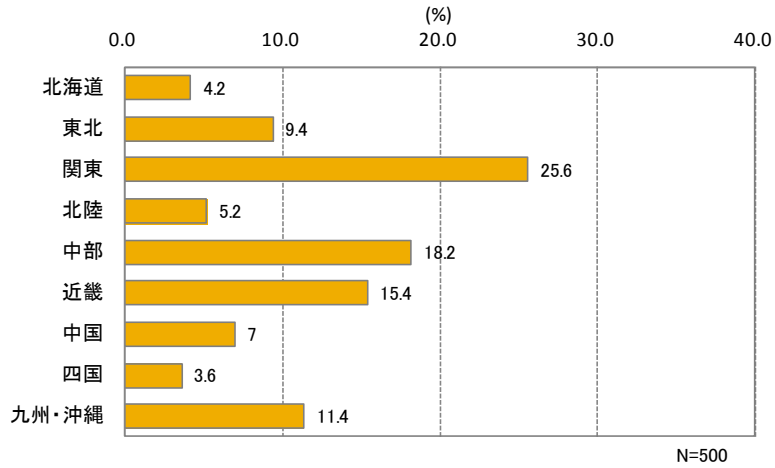
- ○ 「都道府県」が6.4%、「市区」が93.6%となっている。
- ○ 地方分類すると、「関東」が25.6%と最も多く、「中部」18.2%、「近畿」15.4%の順となっている。
- ○ 市区について人口規模をみると、「10万人未満」が56.0%と最も多く、次いで「10万人以上20万人未満」が20.2%、「20万人以上50万人未満」が12.4%、「50万人以上」が5.0%となっている。



N=500

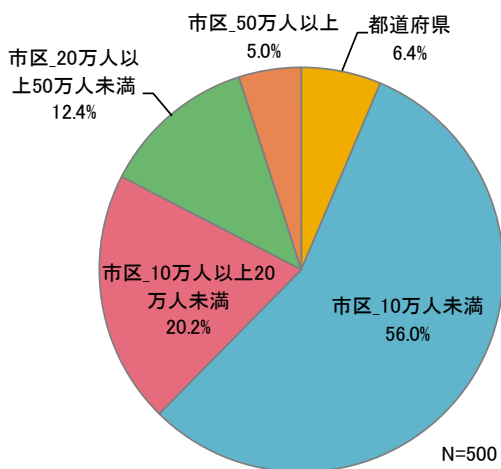
選択肢	今回調査		平成28年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 都道府県	32	6.4	21	4.6
2 市区	468	93.6	435	95.0
不明・無回答	0	0.0	2	0.4
合計	500	100.0	458	100.0

図 自治体種別



選択肢	今回調査		平成28年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
1 北海道	21	4.2	17	3.7
2 東北	47	9.4	43	9.4
3 関東	128	25.6	121	26.4
4 北陸	26	5.2	34	7.4
5 中部	91	18.2	67	14.6
6 近畿	77	15.4	62	13.5
7 中国	35	7.0	36	7.9
8 四国	18	3.6	22	4.8
9 九州・沖縄	57	11.4	54	11.8
不明・無回答	0	0.0	2	0.4
合計	500	100.0	458	100.0

図 地方種別



選択肢	今回調査		平成28年度調査	
	回答数 (件)	構成比 (%)	回答数 (件)	構成比 (%)
都道府県	32	6.4	21	4.6
1 10万人未満	280	56.0	266	58.1
2 10万人以上20万人未満	101	20.2	86	18.8
3 20万人以上50万人未満	62	12.4	57	12.4
4 50万人以上	25	5.0	26	5.7
不明・無回答	0	0.0	2	0.4
合計	500	100.0	458	100.0

図 人口規模別

## 4. 自治体アンケートまとめ

### 4.1 交通環境学習の取組み状況

- 実施実績のある自治体は4割を超えており、平成28年度調査に比べ実施割合は1.4ポイントとわずかながら増加している。都道府県の実施実績は4割を超え、市も3割超で、市では人口規模が大きいほど実施実績は高く、50万人以上の自治体では8割を超える。
- これまでに実施したことのない自治体でも交通環境学習への関心度は高く約8割を占めるが、実際に取り組みに向けて検討を行ったのは1割に満たず、「担当部課の人手不足」のほか「取り組み方法がわからない」ことが検討まで至らない理由となっている。
- 取り組み方法は、自治体が学校に依頼して実施するケースが最も多いが、平成28年度調査と比較すると、出前講座として学校からの依頼に対応するケースが増加している。取り組みは、小学校で「バスや電車の体験乗車・乗り方教室」や「バスや電車等の乗り方の座学」として実施されているケースが多い。
- 今後については、「取組む予定がある」が約2割、「機会があれば取組む」が約4割で、6割が取組み意向を示している。

### 4.2 交通環境学習の実施・継続に向けた課題や障壁

- 平成28年度調査で実施が確認された自治体に、交通環境学習を継続的に実施できる理由をお聞きしたところ、「効果が期待できる」5割を超えており、具体的に期待する効果として多くの自治体が「公共交通の利用促進・利用者増」をあげている。
- 実施したことのある自治体では「教材の準備が大変」が取り組む上での一番の障壁となっており、事例やマニュアルのほか、すぐに使える具体的教材が必要であることが伺える。
- また、実施にまで至らない自治体では「具体的取組み内容がわからない」「教材の準備が大変」「具体的事例を知る機会が少ない」が取り組む上での障壁となっており、引き続き様々な機会や手段での情報提供や情報発信が必要であることが伺える。